

令和5年度第1回「しがwebアンケートプラス調査」 (県外向け調査)の結果について

1 調査の目的

他の都道府県民を対象として、滋賀県に対するイメージ・意識・認知度等をインターネットを活用し適時迅速に調査し、速やかに県の施策に活用するための基礎資料とする。

2 調査の概要

(1) 調査対象 県外 首都圏：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
京阪神：京都府、大阪府、兵庫県、奈良県
在住の満18歳以上の個人

(2) 標本数 1,000人

(3) 調査方法 インターネットを利用し、パソコン、スマホ等により回答するweb調査

(4) 調査機関 令和5年7月24日(月)～26日(水)

(5) 調査会社 株式会社 クロス・マーケティング

3 調査項目

人口減少の要因分析等に向けた県外在住者への意識調査

4 主な調査結果

問1 今後、将来的に滋賀県で暮らす予定はありますか(回答は1つ)。

1位:将来的に暮らすつもりはない。	77.0%
2位:分からない。	13.3%
3位:将来的に暮らすつもりはないが、滋賀県には何等かの形で関わっていたいと思う。	6.3%
4位:将来的には暮らしたいと思う。	2.6%
5位:将来的に暮らす具体的な予定がある。	0.8%

・将来的に暮らすつもりはないと答えた人が最も多く、全体の77%となっている。

・将来的に暮らす具体的な予定があると回答した人が8人、暮らしたいと思うと回答した人が26人、暮らすつもりはないが何等かの形でかかわっていたいと思うと答えた人が63人となっており、合計で約1割となっている。

問2 今後、将来的に滋賀県で暮らすために必要なこと、重視することは何ですか(複数回答可能)。

(問1で「①将来的に暮らす具体的な予定がある。」「②将来的には暮らしたいと思う。」を選択された方はご自身が将来滋賀県で暮らすためにはという視点から、「③将来的に暮らすつもりはないが、滋賀県には何等かの形で関わっていたいと思う。」「④将来的に暮らすつもりはない。」「⑤分からない。」を選択された方も、これが充実していれば将来的に滋賀県で暮らすことを考えることも可能、といった視点からお答えください。)

1位:生活に必要な費用	42.6%
2位:医療環境	35.3%
3位:家賃補助など金銭的な支援	33.4%
4位:移住時に活用できる補助金・サポート施策	32.6%
5位:仕事に関する情報提供やマッチング	30.2%
6位:移住後も親身になって相談に応じてくれる体制の充実	28.1%

- | | |
|---------------|-------|
| 6位:お試し移住住宅の提供 | 28.1% |
| 8位:その他 | 11.5% |
| 9位:子どもの教育環境 | 10.5% |
- ・「生活に必要な費用」と答えた人が最も多く42.6%となっており、次いで「医療環境」が35.3%、「家賃補助など金銭的な支援」が33.4%、移住時に活用できる補助金・サポート施策が32.6%などとなっており、費用面と医療面を重視する人が多いことがうかがえる。
- ・「その他」11.5%の中には「交通の便、移動手段」や「文化施設、娯楽施設」関係の回答があった。

問3 滋賀県は子育てをする上で住みよい県と思いますか(回答は1つ)。

- | | |
|---|-------|
| 1位:分からない | 79.3% |
| 2位:いいえ | 10.6% |
| 3位:はい(他の自治体の状況を詳細には把握していないが、子育てするのに支障ないように思われる場合も含む。) | 10.1% |
- ・「分からない」と答えた人が79.3%と最も多く、「いいえ」と「はい」がそれぞれ約1割となっている。

問4 令和4年の人口動態月報年計が6月に発表されましたが、滋賀県でも出生数が9,766人と初めて1万人を下回り、合計特殊出生率も1.43と前年から低下しました。特に「出産・育児等に関する施策」についてあなたが求めることは何ですか(複数回答可能)。

- | | |
|--|-------|
| 1位:子どもの教育にかかる費用の援助 | 44.9% |
| 2位:企業における働き方改革の支援(育児休業等の代替要員確保、周囲の従業員の負担軽減、モチベーション確保等) | 44.6% |
| 3位:子どもにかかる医療費の援助 | 40.2% |
| 4位:幼稚園・保育園等教育環境の充実 | 37.4% |
| 5位:出産にかかる費用の援助 | 33.8% |
| 6位:パートナーとの家事・育児分担の意識啓発 | 23.5% |
| 7位:ベビーシッターや家事サポート利用にかかる費用の援助 | 20.8% |
| 8位:結婚支援の充実 | 19.4% |
| 9位:不妊治療にかかる支援制度の充実 | 17.4% |
| 10位:その他 | 10.3% |
- ・「子どもの教育に係る費用の補助」と「企業における働き方改革の支援」がほぼ同じく約45%となっており、次いで「子どもにかかる医療費の補助」が40.2%、「幼稚園・保育園等教育環境の充実」が37.4%と続いており、費用面および職場や教育の環境面の充実を求める声が多くなっている。

問5 滋賀県は就職をする上で住みよい県と思いますか(回答は1つ)。

- | | |
|--|-------|
| 1位:分からない | 77.3% |
| 2位:いいえ | 16.2% |
| 3位:はい(他の自治体の状況を詳細には把握していないが就職するのに支障ないように思われる場合も含む) | 6.5% |
- ・「分からない」と答えた人が77.3%と最も多く、「いいえ」が16.2%、「はい」は6.5%となっている。

問6 就職先を決めるうえであなたが重視する点は何ですか(複数回答可能)。

- | | |
|------------------|-------|
| 1位:賃金 | 58.2% |
| 2位:勤務内容 | 52.5% |
| 3位:安定して長く続けられること | 50.7% |

4位: 自宅からの通勤時間	46.8%
5位: 勤務先の雰囲気	39.9%
6位: 福利厚生が充実していること	39.3%
7位: 私生活の自由な時間が十分確保できること	30.3%
8位: 自分が身に付けた知識や技術が活かせること	22.0%
9位: 子育て・介護との両立がしやすいこと	20.4%
10位: テレワークが可能であること	17.1%
11位: 企業規模や勤務先の知名度	15.9%
12位: 産休育休等の制度が整っていること	13.8%
13位: 実力主義で昇進できること	8.2%
14位: その他	4.1%

・上位は順に「賃金」58.2%、「勤務内容」52.5%、「安定して長く続けられること」50.7%となっておりそれぞれ5割を超えている。

・続いて、「自宅からの通勤時間」「勤務先の雰囲気」「福利厚生が充実していること」の順となっている。

問7 あなたにとって、滋賀県の強み、滋賀県に住むことのメリットはどのような点と思いますか(複数回答可能)。

1位: 分からない	58.2%
2位: 地価が近隣府県に比べて高額でない点	18.2%
3位: 鉄道やバスなど公共交通機関の利便性が優れている点	13.5%
4位: 事件や事故が少ないなど、暮らしの安全が確保されている点	13.0%
5位: 食料品や日用品などの買い物の利便性が優れている点	12.8%
6位: 希望する就職先が県内に多い点	10.4%
7位: 趣味や娯楽などの施設が充実している点	8.3%
8位: 学校などの教育環境が充実している点	6.0%
9位: 家族・友人・知人がいる点	5.5%
10位: その他	1.5%

・「分からない」と回答した人が58.2%と最も多くなっている。

・「分からない」以外では「地価が近隣府県に比べて高額でない点」が18.2%、「鉄道やバスなど公共交通機関の利便性が優れている点」が13.5%、「事件や事故が少ないなど、暮らしの安全が確保されている点」が13.0%と続いている。

問8 あなたにとって、滋賀県のウィークポイント、滋賀県に住むことのデメリットはどのような点だと思いますか(複数回答可能)。

1位: 分からない	52.5%
2位: 家族・友人・知人がいない・少ない点	23.5%
3位: 鉄道やバスなど公共交通機関の利便性がよくない点	17.0%
4位: 希望する就職先が県内に少ない点	12.2%
5位: 趣味や娯楽などの施設が充実していない点	9.5%
6位: 食料品や日用品などの買い物の利便性がよくない点	7.9%
7位: 学校などの教育環境が充実していない点	5.5%
8位: 事件や事故が多いなど、暮らしの安全が確保されていない点	4.2%
9位: 地価が近隣府県に比べて高額な点	1.8%

- 10位:その他 1.6%
- ・「分からない」と回答した人が 52.5%と最も多くなっている。
 - ・「分からない」以外では「家族・友人・知人がいない・少ない点」が 23.5%、「鉄道やバスなど公共交通機関の利便性がよくない点」17.0%、「希望する就職先が県内に少ない点」が 12.2%と続いている。
 - ・「鉄道やバスなど公共交通機関の利便性」については問7の強み、メリットでも上位にランクされており、個人の主観的な思いに差があることがうかがえる。

問9 コロナ禍を経て、地方への移住に対するあなたの意識に変化はありましたか(回答は1つ)。

(ここで言う「地方」とは、都市部(東京、大阪、名古屋圏)以外をさします。問10も同じです。)

- | | |
|------------------------------|-------|
| 1位:分からない | 43.5% |
| 2位:以前と変わらず今後の選択肢としては後ろ向きである。 | 36.7% |
| 3位:以前と変わらず今後の選択肢としては前向きである。 | 10.2% |
| 4位:以前より今後の選択肢として前向きになった。 | 5.4% |
| 5位:以前より今後の選択肢として後ろ向きになった。 | 4.2% |
- ・「分からない」と回答した人が 43.5%と最も多い。
 - ・続いて、「以前と変わらず今後の選択肢としては後ろ向きである。」が 36.7%、「以前と変わらず今後の選択肢としては前向きである。」が 10.2%となっている。コロナ禍を経て意識の変化があったという回答は少なかった。

問10 現在の住居から地方への移住意向がない人について、その理由は何だと思えますか。ご自身が地方への移住意向がない場合はご自身の理由を、そうでない場合は地方への移住意向がない人の理由として考えられることを選択してください(複数回答可能)。

- | | |
|---------------------------------------|-------|
| 1位:今住んでいる地域が住み慣れているから | 46.6% |
| 2位:既に持ち家があるから | 44.9% |
| 3位:買い物、医療や交通など日常生活が不便になるから | 32.6% |
| 4位:今住んでいる地域での利便や娯楽を失いたくないから | 23.7% |
| 5位:地方での地域のしがらみ等、うまくやっていけるかどうかが不安だから | 22.2% |
| 6位:分からない | 20.7% |
| 7位:現在の仕事を変わりたくない、あるいは、希望する仕事は確保できないから | 16.2% |
| 8位:現在生活している地域での人間関係や親類とのつながりを重視したいから | 12.9% |
| 9位:子どもの教育や生活環境を変えたくないから | 6.3% |
| 10位:その他 | 1.5% |
- ・「今住んでいる地域が住み慣れているから」と回答した人が 46.6%と最も多く、「既に持ち家があるから」と回答した人が 44.9%、「買い物、医療や交通など日常生活が不便になるから」と回答した人が 32.6%と続いている。

問11 過去に滋賀県に住んだことはありますか はい 3.3%

問12(問11ではいと回答された方のみ)滋賀県から転出された理由を記載してください。

(自由記述)

- ・1,000 人のうち 33 人の方が、過去に滋賀県に住んだことがあると回答され、その転出理由については「自身や家族の仕事の都合」が最も多く 21 人(63.6%)となっている。